

今も現役、地域に元気を！

JR阿佐ヶ谷駅北口から、商店街を抜け10分ほどの住宅街に、97歳の洋画家・入江一子さんのシルクロード記念館があります。入江さんは、学校の教員を退職して以降、シルクロードのスケッチ旅行を開始。40年あまりの間に30余国を巡りました。入江さんは、97歳になった現在も現役。記念館は、週末のみの開館ですが、運が良ければ、入江さんご自身の解説で、100点あまりの作品を鑑賞することができます。また、何よりも入江さんの前向きな生き方、考え方に触れると、誰もが頑張ろうと元気をもらった気分になさしてくれます。

阿佐ヶ谷の住宅街にたたずむ小さな美術館に、一步足を踏み入れると、そこには天井の高い異空間が出現します。100号、200号という色彩豊かな大作が、来館者を圧倒します。作品は、入江さんが幼少期を過ごした韓国や中国など東南アジアからヨーロッパのシルクロードを、1969年から40年間に渡って写生旅行を続け描いたものです。

入江一子さんは、1916年生まれの97歳。来月には、98歳の誕生日を迎えます。美術館を訪ねると、入江さんが優しい笑顔で出迎えてくれます。そして、運が良ければ、作品一つひとつにまつわる苦労話などを、入江さん本人から聞く事が出来ます。入江さんは、97歳の今でも前を真っすぐ見据えて、製作活動に取り組んでいます。独立美術協会展・女流画家協会展など200号の大作2点に取り組んでいるほか、100歳を迎える2016年6月には、「100歳記念展」を開催する計画を立てています。小さな体の入江さんですが、製作意欲に衰えはありません。



この美術館の開館は、2000年11月。入江さんは、中学校の美術教師や絵画教室の講師などを長年務めるなど、多くの人たちに芸術を楽しんでもらいたいと考えてきました。この美術館も、そうした思いが形になったもので、来場者には自分の言葉で案内をしようとするにもつながっています。生涯現役を貫く、入江さんの生き方、考え方に触れたならば、誰もが元気をもらって頑張ろうという気持ちになります。

入江一子シルクロード記念館

- ・開館日 毎週金・土・日曜日（8・9月、年末年始は休館）
- ・開館時間 午前11時から午後5時まで
- ・入場料 500円
- ・場 所 杉並区阿佐谷北2-8-19（電話03-3338-0239）

